

いつまでに
どれだけかかる？

大学・専門学校入学までの1年間でみる

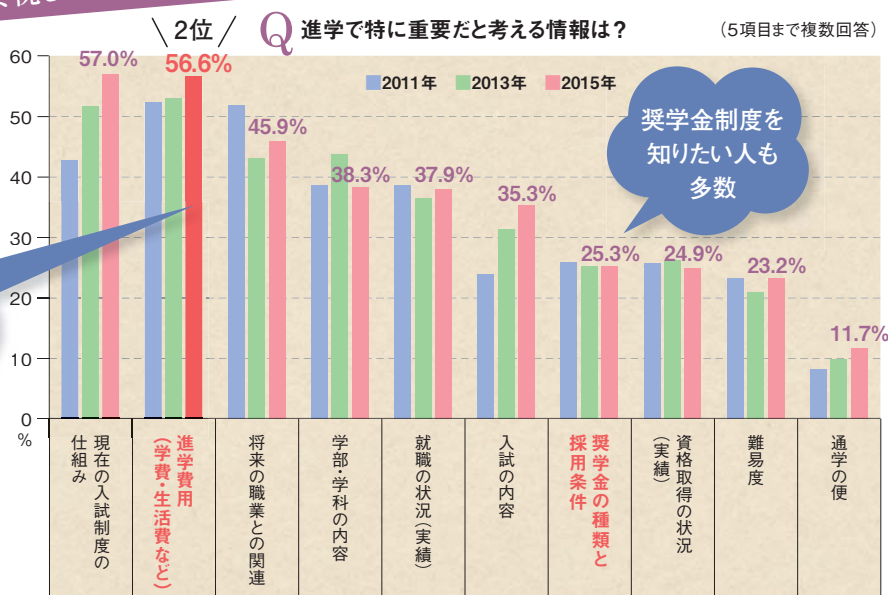
高3の進学マナー 徹底チェック

卒業後に進学するまで、残り1年弱という3年生にとって、この1年間は進路を決めるための大事な時期です。保護者の皆さんも、そんな子どもを見守り、支えつつ、やるべきことがたくさん出てきます。そのなかでも忘れてはならないことのひとつが、進学費用の準備です。いつごろ、どんな費用がどれくらいかかるのか、ここであらかじめ確認しておきましょう。

構成・取材・文／インタープレス（光田洋子、三浦美紀） イラスト／ハラアツシ



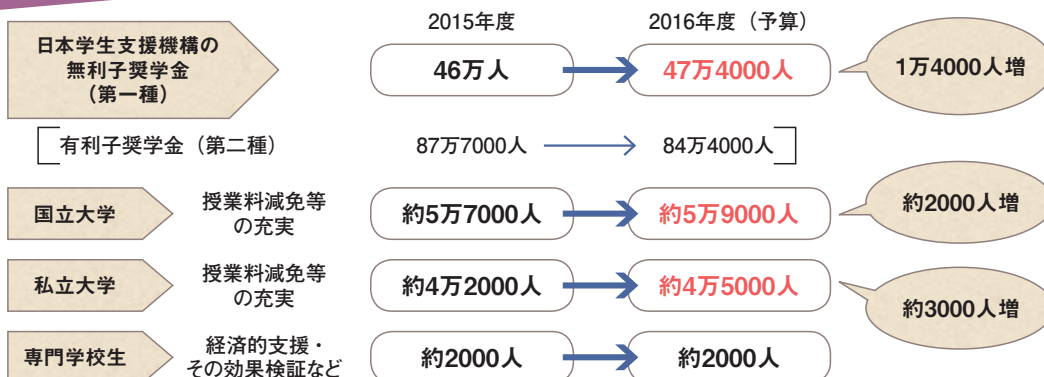
保護者が重要視していることの上位が進学費用



進学費用を重要視する人は年々増加中

(社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルートマーケティングパートナーズ合同調査「第7回高校生と保護者の進路に関する意識調査2015」より

学費をサポートする制度は徐々に充実！

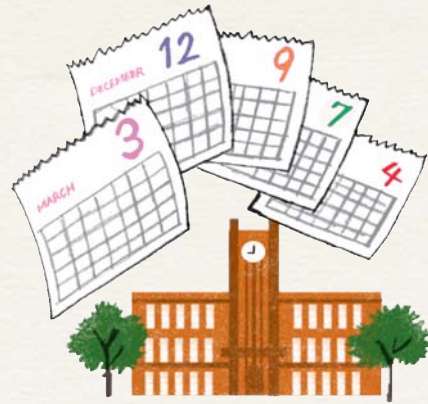


情報をキャッチして受験を乗り切ろう

文部科学省「平成28年度文部科学関係予算(案)のポイント」より

この一年にかかるお金

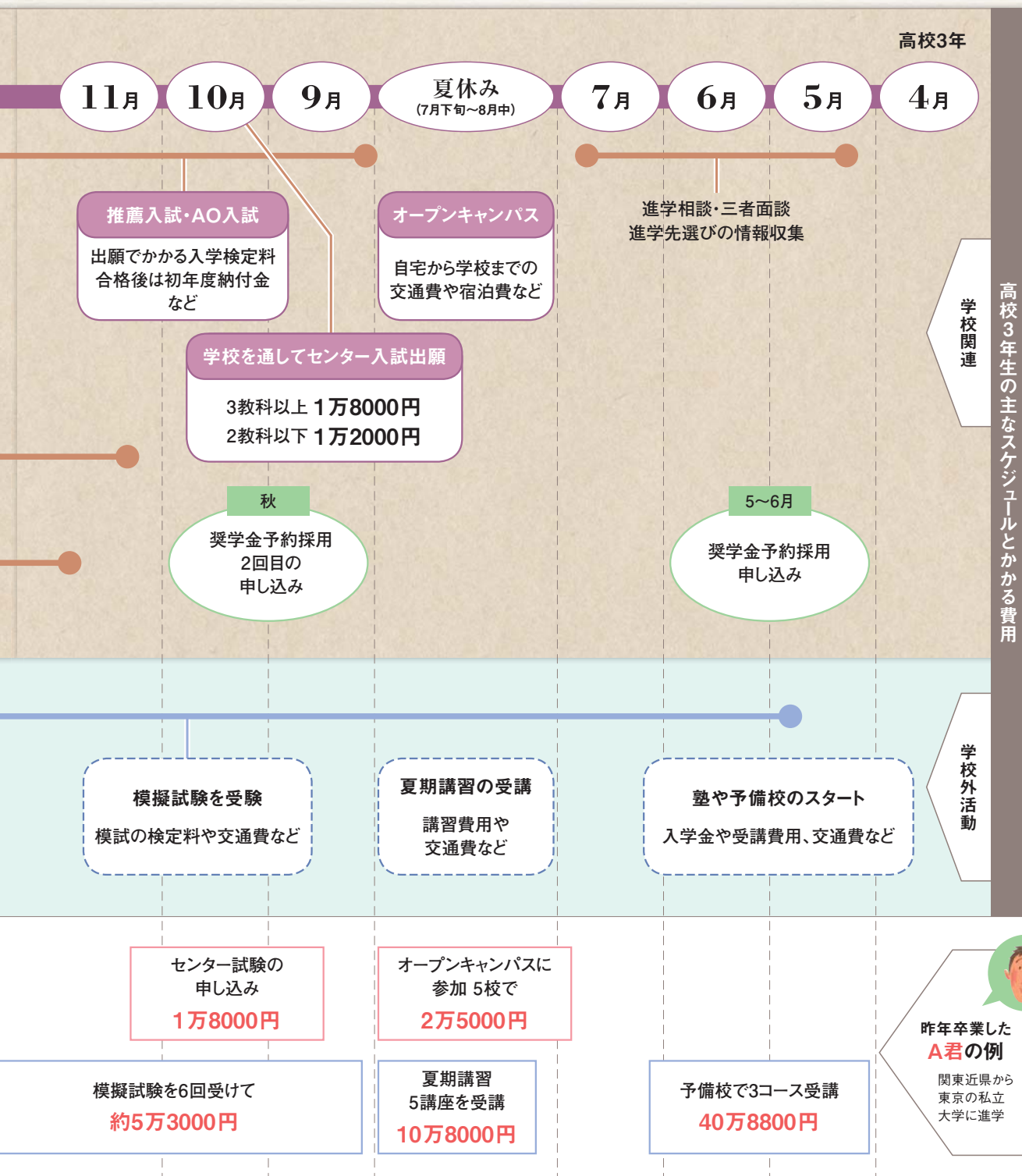
いつ、どんなお金が必要なのか
年間の出費をトータルでみる



受験費用や入学金のほか
細かい出費もけっこう多い

高3になると、進学先について、親子で話し合う機会も増えるでしょう。保護者としては、その希望によって「入学金や学費はどれくらいかかるのかしら?」と気になるものですが、進学のために必要なお金は、学校に納めるお金だけではありません。下に、高校3年生の1年にかかる主な費用をあげてみました。

まず、受験校を絞り込むまでには、学校案内の資料やインターネットで情報を集めることが必要です。情報収集にはあまりお金はかかりませんが、最近は夏休みなどに実際に大学や専門学校を訪れて確かめる「オ



「プレンキャンパス」に参加する人が多くなりました。その際には交通費のほか、遠方の学校なら宿泊費もかかることがあります。

一学期から予備校や塾に通い始めれば、その費用も必要ですし、夏期講習・冬期講習だけでも、それぞれ10万円前後かかるのが一般的。受験までに全国型の模試などを何回か受ければ、その費用もそのつど発生します。参考書や大学別の過去問などのテキスト代も案外かかります。

秋から冬にかけては、出願のための費用や受験料、試験当日の交通費など、さまざまな出費が続きます。

最大の山は、入学手続きの際に支払う初年度納付金です。一般入試なら年明けの2月から3月に支払いますが、推薦やAO入試で入学する場合は秋に納めることが多いので、早めに準備しておかなければなりません。

また、入学先が地元以外で、自宅外からの通学になれば、住まいを決めて引っ越すまでの費用も発生。

一番下は、先輩のA君が都内の私立大学に入学するまでの1年間にかった費用で、合計すると300万円以上の出費になったそうです。

人によって進学費用には違いがありますが、これくらいかかるのが現実です。次のページから費用の内訳や詳細をチェックしてみましょう。

大学または専門学校1年

4月

入学式

入学前後にかかるお金

- ・入学式のスーツ代など
- ・通学定期代など
- ・自宅外通学の場合
家賃や敷金・礼金、生活用品の購入費など

3月

入学手続き

- ・初年度納付金
(入学金や授業料など)
- ・滑り止め校入学金 など

2月

1月

一般入試・センター試験の出願&受験

出願時の入学検定料や
試験当日の交通費・宿泊費など

冬休み
(12月下旬～1月上旬)

12月

大学の
入学前予約採用型給付
奨学金の申し込み

教育ローンを
申し込むならこの時期
(一般入試の場合)

冬期・直前講習の受講
講習費用や交通費など



高校3年4月から
入学までに
かかったお金

合計
約**329**万円

新居の敷金・礼金、
引っ越し代、
上京費用、
スーツ代など
約82万円

進学する
大学の
初年度納付金
を納める
125万円

国立大・私大合わせて
6校受験した
検定料、交通費ほか
24万円

滑り止め校の
入学金を納める
25万円

センター試験
の受験
2日間の交通費
1万円

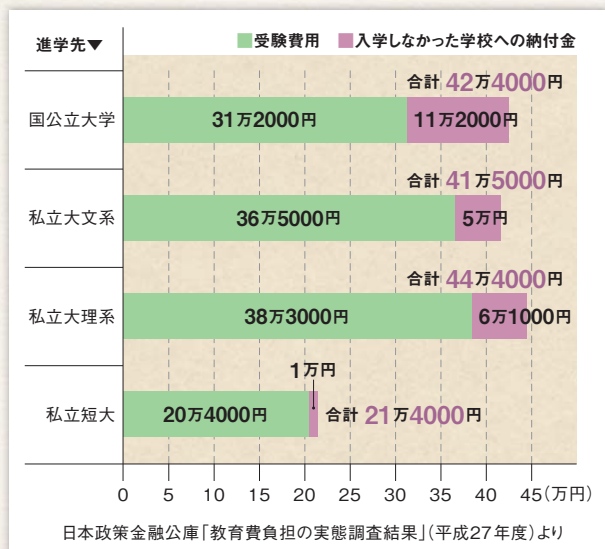
冬期講習
5講座を受講
10万8000円

受験にかかる費用

一般入試で複数受ければ
受験費用だけで40万円以上

今は受験生のためにオープンキャンパスを開催する学校が増え、複数参加すれば意外に交通費がかかりません。入試方法も複数から選択できますが、どの方法を選ぶにしても、試験は1回ごとに検定料の支払いが必要。推薦やAO入試を選び、1回で合格すれば数万円で済みます。ただ、この方法でも1回で合格せず、何度か受験する人も。また、一般入試を選ぶば、滑り止めも含めて複数校受験することが多く、その分、受験費用も高くなります。一般入試は、国公立のほか、私立でもセンター試験を採用する大学が多く、センター試験は秋の申し込み時と、受験する学校ごとにそれぞれ費用がかかります。私立大学のセンター利用入試は、一般入試に比べれば安いのですが、いくつかの多めに出席し、結果的に出費がかさむことも。受験費用の平均は約40万円ですが、交通費や宿泊費を含め50万円以上かかった人もいます。受験校を絞り、下段の割引制度などを利用して抑えることも検討を。

●受験にかかった費用の平均額



●大学に進学した人のオープンキャンパスに行った学校数

1位	5校以上	27.7%
2位	2校	20.8%
3位	3校	18.7%

参加費用はかからないが、そのつど交通費がかかってくる!

リクルートマーケティングパートナーズ
「進学センサス2013」より

●入学検定料(受験料)

	国立大学	私立大学
推薦入試・AO入試	1万7000円	3万5000円程度
	3教科以上	2教科以下
大学センター試験(申し込み時)	1万8000円	1万2000円

※4月に送られてくる成績通知が必要な場合、別途800円かかる

国立大学	一般入試(前期・後期)	1万7000円
私立大学	センター利用入試	1万~2万5000円
	一般入試	3万5000円

参考

出願手続きでかかる費用	・入試要項の購入費用 ・出願書類の郵送料	・検定料の振込手数料 ・証明写真の撮影料 など
専門学校	一般入学	2万円程度(免除制度あり)

●大学の受験費用が割引になる方法

ネット出願

学校によってはインターネットでの出願は、郵送での出願よりも、検定料が1回につき3000円~5000円程度割引になることがある

学内併願制度

1回の出願や試験で複数の学部・学科を受験すると、通常1回につき3万5000円程度の検定料が、2学部(学科)目からは少し安くなる

会場選択制

大学の所在地のほか、全国の複数都市の試験会場から1カ所を選択して受験する制度。自宅近くの会場で受験すれば、交通費や宿泊費の節約になる

センター利用入試

センター試験の成績で合否を決める入試方法。上の検定料の通り一般入試よりも安くすむが、募集人員が異なるため入試の倍率が高くなることもある

どんな方法で何校受けるかで
人によって大きな違いに!



模試・講習などの費用

子ども自身の希望を聞いて
家計とのバランスで考えよう

交通費・宿泊費

遅れた勉強を取り戻すには
それなりの出費も必要に…

付属大学や推薦・AOで進学する生徒が多い高校では、高3になっても意外にのんびり構えている場合もあるでしょう。一方で3年になった途端、部活や生徒会活動を引退し、受験モードに切り替わる高校もあります。後者の場合、3年の一学期から塾や予備校に通う生徒が増加します。そうでなくても、予備校の夏期講習や冬期講習は受講する人が多く、子どもの希望や学力によって、下のようない出費を伴う家庭が増加します。

一般入試の場合、受験する大学を考えたとき、絞り込んだりするために、全国規模の模試を受けるのも一般的。1回の模試の費用は安くても、複数回受ければ、交通費なども含めてそれなりの出費になります。さらに、通信教育や家庭教師を頼めば、その分の費用もかかるなど、受験勉強のために家庭で支払う教育費も、年間を通してかなりの金額になります。入学時に納める分の貯蓄を取り崩さずにすむように、こうした出費も予算を組んで考えておきましょう。

学校外にかかる費用の例

●夏期講習・冬期講習を受ける場合 (全国規模の大手予備校の例)

入学金	講習の初回のみ	4100円
夏期講習	1講座あたり2万1600円 ×5講座	10万8000円
冬期・直前講習	1講座あたり2万1600円 ×5講座	10万8000円
合計		22万100円

※年間コースを受講している場合は、入学金は無料、講習費は割引あり

●模擬試験を受ける場合 (全国規模の模試)

模試関連	記述式、マーク式など、 5～12月までの間に受験	1回 4000～ 5200円
	・リスニング機器レンタル費用 (2回のみ)	1回 1100円
	・成績結果の返却手数料	1回 500円
※通学している予備校の模試は、無料のことが多い		
その他費用	自宅～会場までの交通費 往復約2000円×6回	1万2000円
	昼食代1000円×6回	6000円
合計	(6回受験の例)	約5万3000円

●年間を通して塾や予備校に通う場合 (全国規模の大手予備校の例)

入学金	入学時のみ	3万円
※夏期講習・直前講習を受けた場合などは、割引あり		
年間授業料	3科目・3コース (1コースは週1回でコースにより 年10万円～21万4000円) 英語・現代文・数学で	40万8800円
合計		43万8800円

●通信教育を利用する場合 (大手通信教育の例)

基本料	情報料などの諸経費	年間 2万4000円
講座	本科1講座3万8400円×3講座 (セット割引適用後)	10万6800円
合計		13万800円

※12カ月分を一括で支払う場合

●宿泊費の受験生パックの例

◆ビジネス系ホテル(池袋)

【特典】●加湿器、電気スタンド、空気洗浄機の用意
(数量限定)など

1名 [1泊朝食付・シングル] 6574円～

◆シティホテル系ホテル(新宿)

【特典】●加湿器、電気スタンドの用意(予約時に申し込み)
●しょうが茶プレゼント

1名 [1泊朝食付・ダブルのシングル利用] 1万9722円～

学校見学から受験まで1回の費用を調べておく
自宅から遠い大学や専門学校を希望する場合、オープンキャンパスに参加したり、学校見学で下見に行ったりするだけでも、交通費や宿泊費がかさみます。1回の下見で複数の学校を効率的にまわる工夫も大事。受験当日にも同様の費用がかかるので、往復の交通費などは事前に確認しておきましょう。

受験シーズンには、左のような宿泊パックを用意するホテルもあります。国公立大学は前泊を含めて最低2泊、1回の滞在で複数校を受けると1週間かかることもあります。便利で手頃な宿を探すなら予約は早めが肝心です。

入学手続きでかかるお金

最大の出費が初年度納付金！
計画的な準備は不可欠

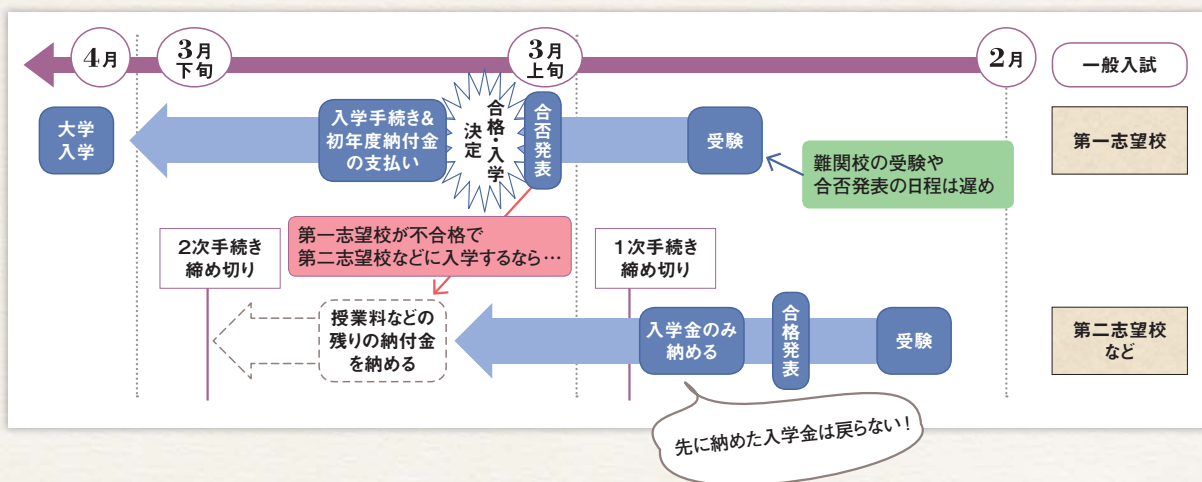
100万円以上のお金を
用意しておくことが必要

入学する学校が決まったら、合格発表から1〜2週間のうちに入学手続きを行い、その際に初年度納付金を納める必要があります。その内訳は入学金と授業料、施設設備費、諸会費などで、金額は学校や学部ごとに異なり、平均額は下図の通りです。

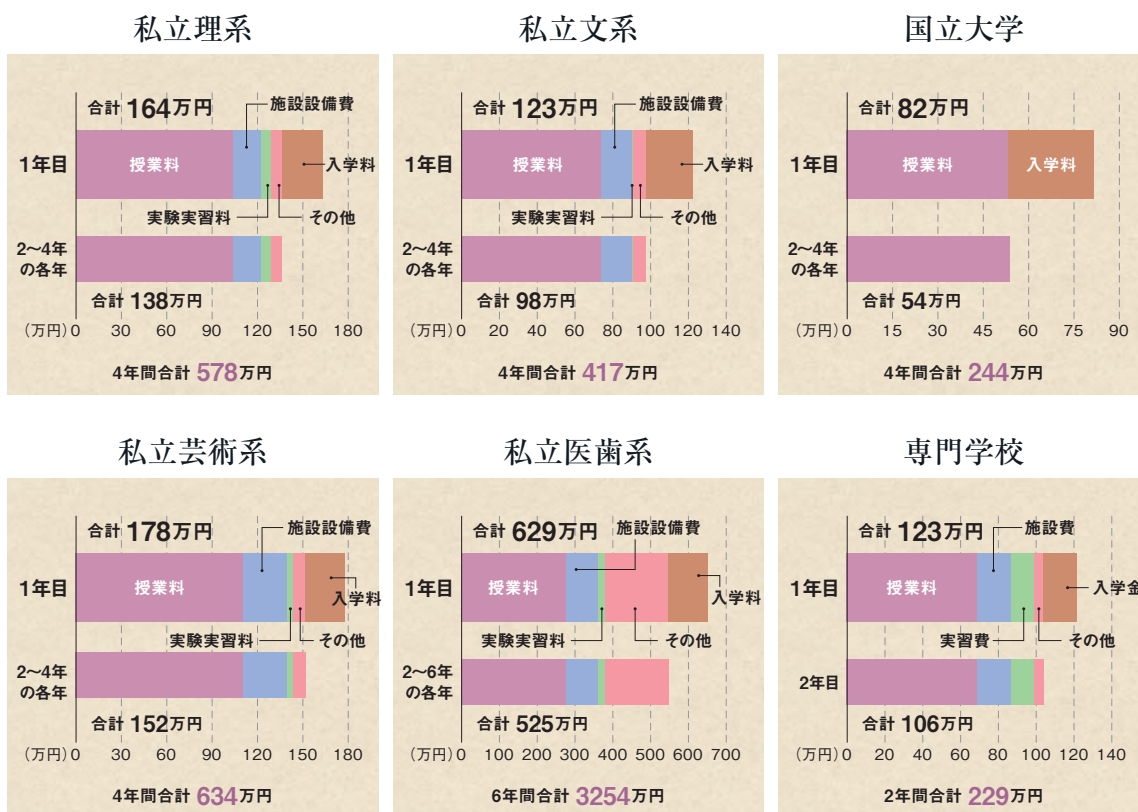
国立大学は82万円、諸経費はかかっても数万円程度。公立大学もほぼ同じで、入学金のみ地元居住者は安くなる大学もあります。一方、私立大学は文系学部が平均123万円ですが、理系や芸術系学部は160万〜170万円台。医歯系学部は600万円以上。このうち、授業料だけは前期と後期で分割納付もできますが、入学手続きの際には100万円前後かかるのが一般的。

第一志望の合格発表が遅ければ、滑り止めの入学金も必要。ただ、授業料などは下図の二段階納付により、重複して払うことは避けられます。専門学校も学科や専攻コースで納付金は異なりますが、平均では私立文系と同程度になります。

●入学手続きで私大の二段階納付を利用する例 ※入学手続きの1次・2次締切日は学校ごとに異なるので注意



●進学コース別の学校納付金



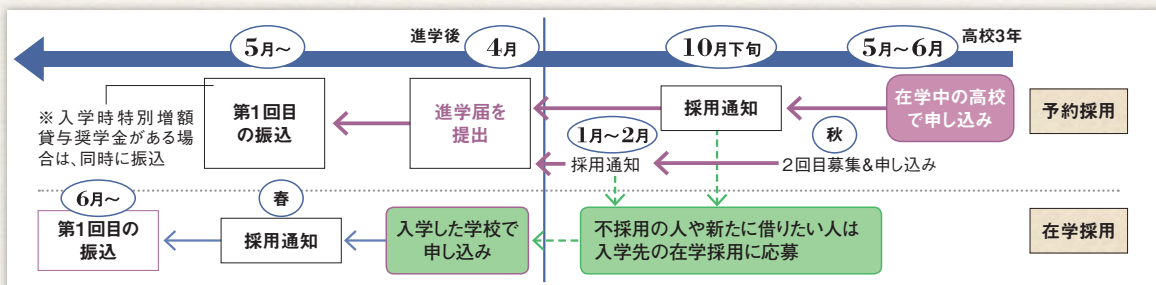
グラフの納付金は、国立大学は平成27年度の標準額、私立大学は平成26年度入学者の初年度納付金の平均額の調査(文部科学省)、専門学校は平成27年度学生・生徒納付金調査(東京都専修学校各種学校協会)から作成(すべて昼間部)。

学費を補う奨学金・ローン

支援機構の奨学金は 高3の春に申し込みを

初年度のほか、毎年かかる学費も心配なら、不足分は奨学金で補いましょう。今や大学生の約半分は奨学金を利用し、そのうち約8割は日本学生支援機構の奨学金です。この奨学金は、高3の春に「予約採用」で申し込みの人が多数。5月頃に学校で説明があったら、さっそく手続きを。秋に2回目の募集がある場合もありますが、春に申し込むほうが安心。予約採用がダメでも、大学や専門学校に入学後に、「在学採用」で再度応募することができます。ほかにも、民間団体や自治体の奨学金を調べてみましょう。大学独自に行う給付型の奨学金も増えているので、条件に合えば応募しては。支援機構の奨学金は卒業後に返済が必要な貸与型ですが、給付型の奨学金を併用できれば、将来の負担は軽くなります。ただ、奨学金は入学後に受け取るタイプが大半なので、入学手続き時には間に合いません。初年度納付金が不足しそうな時は、下図の教育ローンの利用を検討してください。

●日本学生支援機構の手続きの流れ（2016年3月9日現在）



●その他の奨学金

種類	特徴
民間企業・団体	将来の社会や地域に貢献する人材育成や、経済的支援のために実施
自治体	都道府県や市区町村が、その地域に住む保護者や学生自身に対して実施
大学独自	成績優秀な学生や、経済的支援が必要な学生に対して実施

●入学前予約採用型給付奨学金の例

大学・奨学金名	給付額	採用候補者数
青山学院大学 地の塩、世の光奨学金	1～4年次 各50万円	約350人
立教大学 自由の学府奨学金	1～4年次 各50万円（理学部70万円）	約500人
早稲田大学 めざせ！都の西北奨学金	1～4年次 各40万円	約1200人

※情報は2016年度募集内容。詳しくは、各大学のホームページなどで確認を。

3校すべて、東京、神奈川、埼玉、千葉を除く人が対象

●その他の教育ローン

	融資額	主な使い道	金利（年）	返済期間
ろうきん中央 うきん中央	最高 1000万円	・学校納付金、受験料 ・学用品代 ・下宿の敷金・礼金 ・6か月以上の留学費用	固定金利 1.5～2.7% ※会社が団体会員 などの場合、変動も 選択可	15年まで
民間金融 機関	最高300万 ～500万円 程度	・入学金や授業料などの 学校納付金	変動金利が 主流で、2～4 %台が多い	10年以内が 一般的
信販会社 学校提携の	最高500万 円程度が 一般的	・入学金や授業料などの 学校納付金 ※会社から直接学校に振込	主に固定金利 で3～4%台 が多い	10年以内が 一般的

※金利は2016年3月9日現在

●日本学生支援機構 大学生の奨学金の利用条件

（予約採用・2016年入学者の場合）

種類	申し込み基準	貸与金額
（無利息） 第一種奨学金	学力 高等学校の申込時までの成績の平均値が3.5以上	国公立／ 自宅通学 月4万5000円 自宅外通学 月5万1000円 私立／ 自宅通学 月5万4000円 自宅外通学 月6万4000円 上記のほか月に3万円も選択可能
（利息付） 第二種奨学金	学力 高等学校の学業成績が平均水準以上、学修の意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められるなど	大学や通学形態を問わず月3万円、5万円、8万円、10万円12万円から選択。私大の医学・歯学・薬学・獣医学課程は増額が可能
貸与奨学金 入学時特別増額	家計（4人家族の目安） 給与所得者：年収1124万円以下 それ以外：年間所得692万円以下	第一種・第二種奨学金の申込者で、以下のいずれかを満たす人。 1)奨学金申請時の認定所得金額がゼロ評価となる人（4人家族：給与所得者で年収400万円程度以下） 2)1以外の人で、日本政策金融公庫「国の教育ローン」が利用できなかったことを証明する書類を提出した人

※私立の短期大学や専門学校で第一種を利用する場合、貸与月額が異なる
※在学採用（緊急・応急採用含む）の場合、家計基準は異なる

●日本政策金融公庫「国の教育ローン」

融資額	子ども1人につき最高350万円 （条件に合う海外留学費用は450万円まで）
使い道	学校納付金、受験費用、敷金・家賃などの 住居費用、教科書代や通学費用など
金利（年）	固定2.05%（2016年3月9日現在）
返済期間	15年以内。在学中は元金据え置き可
借入条件	世帯の年間収入（年間所得）が下の金額以内であること 子ども1人 790万円（590万円） 子ども2人 890万円（680万円） 子ども3人 990万円（770万円） ※子ども1人増えるごとに、年収は100万円ずつ加算
その他	保証基金を利用する場合、保証料は融資額から一括で差し引かれる

教育ローン

世帯のいずれかの人が自宅外通学（予定）者であるなど、10の要件のうち1つでも該当すれば、990万円（770万円）までになる

最後に、
これもチェック!

入学前後にかかるお金

教科書代や定期代は入学後。
その前にも思わぬ出費が…

入学手続きがすめば、親はホッと
するのですが、実はまだ、いろいろ
とお金がかかることもあります。新
学期に必要な教科書代や通学定期
代などは、4月以降に渡せばすみま
すが、ここ数年は入学式の前に、男
女ともスーツや靴などを購入する家
庭がほとんど。スーツは就職活動に
も役立ちますが、一式で5万〜10万
円くらい。進学に合わせて新たにパソ
コンを購入する人も増えています。

自宅外通学になったら、3月中旬に
アパートや寮などを探し、住まいの
準備をしなければなりません。アパ
ートだと、下のように契約時の費用
と生活用品などの購入で平均50万
〜60万円。A君(P46参照)の場合は、
下の通り、住まいの初期費用として
約82万円もかかりました。学生寮
も保証金や管理費を含め、1年契約
で最初に50万円前後かかることが多
いので、調べておきたいもの。

自宅外通学の場合、4月以降は仕
送りも必要になるので、下の生活費
を参考に予算を考えておきましょう。

●1人暮らしの学生の1カ月の生活費(地域別の平均額)

入学式用のスーツ代のほか
自宅外通学は住まいも準備

●自宅外通学者の住居費の準備にかかる平均額

家賃 6万1600円

敷金・礼金 20万5800円

生活用品費 30万5500円

合計
57万2900円

東京私大教連「私立大学新入生の家計負担調査(2014年度)」より

初期費用例 東京の私大に進学した A君の場合

アパート探しの上京費用(親子で2往復) 3万2000円

アパート契約でかかった費用
(敷金・礼金、前家賃、仲介料) 25万3000円

電気製品や家具の購入など 24万5000円

パソコン購入&設定 20万2000円

スーツや靴など 9万1000円

合計 約82万円

